

平成29年度島根県スポーツ指導者研修会
兼島根県スポーツ・レクリエーション関係団体連携・協働推進研修会開催要項

1. 目的：スポーツ（障がい者スポーツを含む）及びレクリエーションに関わる団体の関係者や指導者を対象にした合同研修を行い、異なる分野の関係団体間の情報の共有化を推進するとともに、連携・協働して取り組む機運を高め、もって本県の生涯スポーツの普及振興と競技力向上を図ることを目的とする。
2. 主催：島根県 島根県教育委員会 しまね広域スポーツセンター＜(公財)島根県体育協会＞
(公財) 島根県障害者スポーツ協会 島根県レクリエーション協会
島根県スポーツ推進委員協議会 島根県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
島根県障がい者スポーツ指導者協議会
3. 共催：(公財) スポーツ安全協会島根県支部
4. 開催期日：平成30年2月3日(土) 13:00～
5. 会場：くにびきメッセ 501大会議室
松江市学園南1丁目2-1 TEL: 0852-24-1111
6. 日程及び内容
12:30～13:00 受付
13:00～13:10 開会行事
13:10～14:40 講演
14:40～14:50 休憩
14:50～16:20 事例発表
16:20～16:30 情報提供 スポーツ安全協会島根県支部
16:30～ 閉会行事
7. 講師
講演「リオまでの道のり、そして東京へ」
講師 松永 仁志 氏(陸上競技[車いす] / 北京、ロンドン、リオパラリンピック日本代表)
佐藤 友祈 氏(陸上競技[車いす] / リオパラリンピック日本代表)
事例発表「健常者と障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の連携について」
講師 梶谷 清美 氏(島根県スポーツ吹矢協会事務局長)
芦山 洋子 氏(島根県テニス協会事務局長)
樋野 真行 氏(小学生バレーボール今市教室代表)
8. 参加料 無料
9. 対象
(1) 総合型地域スポーツクラブ関係者
(2) 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者
(3) 市町村行政担当者
(4) スポーツ推進委員
(5) 地域スポーツ指導者(スポーツ少年団・スポーツクラブ)
(6) スポーツ・レクリエーション指導者
(7) 障がい者スポーツ指導者・関係者
(8) 学校教育関係者
(9) その他
10. 定員：150名(先着順) ※定員になり次第、受付を終了します。

1 1. 申込方法：別紙申込書に必要事項を記入の上、平成30年1月23日（火）までに郵送または FAX、E-mail にてお申込ください。

1 2. 申込・問合せ先

〒690-0015 島根県松江市上乃木 10-4-2 島根県立水泳プール内

公益財団法人島根県体育協会 生涯スポーツ課

TEL：0852-60-5053 FAX：0852-26-4733

E-mail：shimaneken@japan-sports.or.jp

1 3. その他：くにびきメッセ駐車場（第1駐車場、第2駐車場）は無料でご利用できますが、必ず本研修会受付のカードリーダーにて手続きをお願いいたします。

この研修会は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修となります。ただし、水泳、サッカー、テニス、バドミントン、剣道、空手道、バウンドテニス、エアロビック(上級コーチのみ)、チアリーディング(コーチのみ)、プロゴルフ(教師・上級教師)、プロテニス、プロスキー、スクーバ・ダイビング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャーの有資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。テニスの指導者は1ポイントの実績になります。(平成29年4月1日現在)

<講師プロフィール>

松永 仁志 (まつなが ひとし)



(選手兼監督 障害クラス T53) 1972年大阪府堺市生まれ。岡山県岡山市在住。

18歳の時に競技を始め、以来目標としていたパラリンピックへの出場を2008年に達成(北京大会)。

遅咲きと言われながらも、2012年ロンドン大会出場、そして2016年リオデジャネイロ大会ではパラ陸上日本代表の主将を務めた。チームの監督として若手2人の育成とともに、自身4度目となる東京パラリンピックに若手2人とともにスタートラインに立つことを目指している。

岡山県内では陸上教室も手掛けている。「障害者も健常者も共に走る」をテーマに、天満屋陸上部、岡山大学と連携しNPO法人を立ち上げ、障害者も健常者も子供も大人も、スポーツの楽しさ・素晴らしさを伝えるために陸上教室を開いている。その他、全国各地で講演等の活動を行い、夢を抱き、目標を立てながら進んで行く事の大切さを伝えている。

- ・パラリンピック北京大会：400m、800m出場
- ・パラリンピックロンドン大会：100m、200m、800m出場
- ・パラリンピックリオデジャネイロ大会：400m、800m出場

佐藤 友祈 (さとう ともき)



(障害クラス T52) 1989年 静岡県藤枝市生まれ 岡山県岡山市在住

病気が原因で車いす生活に。2012年ロンドンパラリンピックを見て「次のパラリンピックに出場する」と決意し2012年11月に競技を開始、競技環境を求め2014年4月に岡山県へ。同年5月からパラリンピアン松永仁志氏に指導を仰ぎ競技を初めて2年目に大分国際車いすマラソン大会「ハーフ」でクラス優勝。

2015年4月に強化指定選手に選出、同年10月には2015 IPC 世界選手権ドーハ大会で400m、1500mに出場。400mでは金メダル、1500mでは銅メダルを獲得し、2016年リオパラリンピックへの出場推薦枠を獲得。

2016年リオパラリンピック日本代表に選出され、初日本代表入りを果たす。リオでは400m、1500mに出場し、400mは銀メダル、1500mはNR/PBを更新して銀メダルを獲得する。2017年世界パラ陸上競技選手権大会ロンドン2017日本代表に選出、400m、1500mともに金メダルを獲得し、二冠を達成。